

分析機器部門講習会シリーズ

スピニングディスク共焦点イメージングによる ハイコンテンツアナリシスのご紹介

横河電機製スピニングディスク式共焦点は、高速かつ低退色低光毒性でクリアな共焦点画像が取得できるという特長を持っています。その技術を基に開発した共焦点イメージサイトメーター CQ1 は細胞・細胞塊・組織を高速かつ高精細に撮像し、簡単操作で解析までできる装置です。オールインワン共焦点顕微鏡、ハイコンテンツアナリシス、3D/4D 解析、ライブセル、ラベルフリー(非染色)解析など様々な用途にお使い頂けます。このようなプラットフォームは、創薬・再生医療研究に取り組んでいる国内外大手製薬会社や主要研究施設で近年導入され研究の加速に貢献しています。

今回は装置だけでなくスピニングディスク式共焦点イメージングの基礎、ライブセルでの 3D/4D イメージングを活用したハイコンテンツアナリシス、最新アプリケーション例まで幅広くご紹介します。

また最新技術として、現在注目を浴びている超解像ライブセルイメージング技術(CSU-W1 SoRa)や共焦点イメージングの応用として開発中のシングルセルソリューション(1細胞吸引装置)も合わせてご紹介します。

*本講習会では、分析機器部門に未導入の機器・技術について紹介します。

*今後、今回紹介する機器のデモンストレーションを実施予定です。(日程未定)

日 時 : 平成 30 年 11 月 29 日 (木) 16:00 ~ 17:00

講習内容 : 横河電機(株)ライフイノベーション事業本部 遠藤利朗
① スピニングディスク共焦点とハイコンテンツアナリシスへの応用
② 創薬・再生医療研究における 3D ライブセルイメージングの活用
③ 新技術紹介
超解像ライブセルイメージング CSU-W1 SoRa
共焦点イメージングによるシングルセルソリューション(1細胞吸引装置)

場 所 : 医系研究棟 3 号館 4 階 実習室

定 員 : 15 名程度

申込期間 : 11 月 26 日 (月) まで

申込方法 : メール件名を「CQ1」とし、「氏名」「所属講座」「内線番号」「メールアドレス」を明記の上、e.yorifuji@med.nagoya-u.ac.jp宛にお申し込みください。

お問い合わせ先

医学教育研究支援センター 分析機器部門

担当: 依藤 (内線 81-5792 E-mail: e.yorifuji@med.nagoya-u.ac.jp)

※Web でも講習会情報を掲載しています (<https://www.med.nagoya-u.ac.jp/kiki/workshop/index.html>)